

授業科目名	開講年次	開講期間	単位数	授業形態
クリティカルケア看護学実習 I (役割機能の実習)	1	後期	2	実習 90時間
担当教員	松本幸枝、中島洋一、路璐、飯塚裕美、酒井武志、田村富美子、比田井理恵、細萱順一			
授業概要	クリティカルケア看護学特論 I～IV、クリティカルケア看護学演習 I～IIIの学習を基に、急性・重症患者看護専門看護師の役割と機能について学修し、急性・重症患者看護専門看護師としての実践能力の基礎を養う。			
到達目標	急性・重症患者看護専門看護師の役割(実践、コンサルテーション、調整、教育、研究、倫理調整)について急性・重症患者看護専門看護師に同行し、指導のもとで実践することで、急性・重症患者看護専門看護師の役割理解を深めるとともに、急性・重症患者看護専門看護師としての役割を探究する。			
履修条件	クリティカルケア看護学特論 I～IV・クリティカルケア看護学演習 I～IIIを修得していること。			
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>急性・重症患者看護専門看護師の役割と機能について、急性・重症患者看護専門看護師のからオリエンテーションを受け、急性・重症患者看護専門看護師の活動に同行し、実践、コンサルテーション、調整、教育、研究、倫理調整の役割と機能について、シャドーイングを通して見識を深める。</li> <li>実習終了時、急性・重症患者看護専門看護師とカンファレンスを実施し、急性・重症患者看護専門看護師の役割と機能について、ディスカッションを通して学びを共有する。</li> <li>最終カンファレンスにおいて、CNSの役割と機能について学修した内容を発表し、ディスカッションを通して、学びを共有する。</li> </ol>			
教科書	特に指定しない。			
参考書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Ann B. Hamric/中村美鈴ほか監修(2017)：高度実践看護統合的アプローチ、ヘルス出版</li> <li>・Edgar H. Schein/稲葉元吉訳(2018)：Process Consultation Revisited Buiding the Helping Relationship/プロセスコンサルテーション第16版、白桃書房</li> </ul>			
評価方法・基準	討議への参加度(20%)、レポート(80%)とし、総合的に評価する。			
事前・事後学習	<p>事前学習：実習前に提示された資料を読んでおく。</p> <p>事後学習：実習の後関連した文献等を含め、実践を振り返り考察する。</p>			
備考	<p>実習場所：亀田総合病院・聖路加国際病院・千葉県救急医療センター・かわぐち心臓呼吸病院</p> <p>実習期間：2024年2月から2週間(5日/週×2週間)</p>			